

「はあ、今日塾だよ、嫌だあ。」

一人の友達が言うとは人かが口を揃えて言います。実際、私も一年生の頃は、塾というのは勉強をする場所なので楽しいと感じることは少なかったです。みなさんも、一度はそう感じた経験があると思います。ですが、今の私は塾に楽しく通っていますし、とても感謝しています。塾に感謝している人はたくさんいると思いますが、私の感謝の気持ちには特別なものがあります。

私が通う宜野座村営の塾は宜野座村の中学一年生から高校三年生までが通う一五〇人規模の塾です。他の塾と変わらず定期考査対策や受験対策もします。しかし、他の塾と大きく異なる点があります。それは、無料で通うことができます。村民の方々の税金で私は週三日授業を受けることができます。また、授業が無い日でも仕事の合間を縫って教えてくれます。

宜野座村は、人口わずか六千人程の小さい村ですが私達が塾に通えるよう村民の方々は大切なお金を納めてくれます。それだけでなく、研修旅行や海外への語学留学、検定の料金免除などたくさんあります。でも、私は他の地域について知らなかったのが特別恵まれているとは思いませんでした。ですが、他の地域の人に話すととても驚かれ、「良いな。」と羨ましがられます。その時、私はとても恵まれていることに気づかされました。そして、それは税金のおかげ、何より納めてくれる村民の方々のおかげだと思いました。もし、税金が無かったら私は今の塾に通うことができないし、検定にも積極的に受けることはできなかったと思います。他にも、おじいちゃん、おばあちゃんが年金を貰えなくなったり、医療費が自己負担となってしまったりなどたくさん問題が起こり生活しづらくなってしまいます。

以前の私は税金に対して自分の給料からや物を買ったときにも取られてしまうので良い思いは持てませんでした。ですが、自分が住んでいる地域で何気なく使っているものが何気なく通っている施設が税金のおかげで使うことができると考えれば国という大きな組織へのお金も悪い気持ちを持つことはなくなりました。そして、将来自分が払う年齢になったときには私が今、支えてもらっている地域の方々に私がもらった幸せ以上の恩返しができるよう、その一つとしてきちんと税金を納めていきたいです。

「人が人を思いやり、人が人を支え合う」

その一つに納税があると私は思います。